

## 出逢いの滝 (通称)



今回の珍百景は、前月号に引き続き滝繋がり、浅里地区にある通称「出逢いの滝」と呼ばれる滝ををご紹介します。

ロマンティックな名前と呼ばれるこの滝は、その名のとおり、2つの滝が合流しているところから、そのように呼ばれているそうです。

写真上部の高い方の滝でも約10mほどで、普段はそれほど水量もありませんが、静寂な雰囲気なのか、滝の音に耳を澄ませていると心身ともにリフレッシュするのではないのでしょうか。

また、この滝に願うと、出逢いのご利益があるかもしれません。

この滝に行くには浅里地区にある子安地蔵の付近から遊歩道に登り、山道を1時間ほど歩くとたどり着きますが、途中倒木などで道がわかりにくい部分がありますので、見に行く際には、十分下調べのうえ、お出かけください。

### — 珍百景を募集!! —

皆さんが見つけた珍百景を募集しています。「なんやこれ?」って思わず言ってしまうような、珍百景情報がありましたら、ぜひ役場企画調整課広報係(☎33-0334)までご連絡ください。お待ちしております。

## ひょうたん

### 目撃取材記

今回は珍百景の出逢いの滝の帰り道であやうく遭難しかけた話です。

滝に行ったことがあるという上司のT氏に出逢いの滝の場所を聞いたところ、割と簡単に行けるよという話だったので、さっくりとルートを教えてもらったのですが、それが間違いの始まりでした。

出逢いの滝への道はメインとなる遊歩道はあるのですが、杉を管理する

ための道や、けもの道があるうえ、倒木などもあり、道がわからず途中で断念。さらに帰り道にけもの道に入っ

てしまい、1時間ほど迷ってしまいました。

歩いていて道を間違っ



道沿いには倒木も

たなと感じたものの、太陽の位置から大体こっちの方だろうと、さらにそのまま進んでしまい、引き返すに引き返せないうころまで来てしまつというダメなパターン...

幸い、尾根のあたりまで上ると、携帯電話の電波をかりうじて拾えたのですが、スマホのマップを開いても、位置情報があてにならない地図に悩まされた。

結局T氏に電話をかけてアドバイスをもらい、強引に谷を下り、沢沿いを進み、なんとか県道まで戻ることができました。

当たり前の話ですが、山道を歩くときには、準備とルートの確認をしっかりしておくことを身に染みて学びました。

(引き返す勇気の大事さを知った 愛野)



広報担当 藤原 ちづ

